

来月の消費予報

**節約志向が弱まり、季節消費の意欲が高まる気配。
ただし、ゴールデンウィーク需要は今ひとつか。**

株式会社博報堂(本社・東京)のシンクタンク博報堂生活総合研究所は、20~69歳の男女1,500名を対象に「来月の消費意欲」を点数化してもらうなど、消費の先行きに関する調査を毎月実施。その結果を「来月の消費予報」として発表しています。

5月の消費意欲指数は46.5点。前年同月比・前月比ともに+0.7ポイントで、前月に引き続き、ほぼ横ばいとなりました。

5月の消費意欲指数



↑ 前月比 +0.7 ポイント

↑ 前年同月比 +0.7 ポイント

↑ : 前月比/前年同月比で上昇 ↓ : 前月比/前年同月比で下降

「消費意欲が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの来月(5月)の消費意欲は何点くらいですか?」と質問。※詳細は4ページ

カテゴリ別 消費意欲



★ UP : 前年同月比で 20 人以上増加 ● DOWN : 前年同月比で 20 人以上減少

「来月(5月)、特に買いたいモノ・利用したいサービスがありますか?」という質問に「ある」と回答した人に、具体的に「買いたいモノ・利用したいサービス」を選んでもらった結果を前月と比較して作成。 ※詳細は4ページ
2016年11月調査より、各カテゴリを選択した実人数の前年同月比に変更しています。

5月のポイント

Point 1 : 前月高まっていた節約志向が弱まり、季節消費が高まる見込み

5月の消費意欲指数は前月からほぼ横ばいですが、消費意欲指数の理由(自由回答)を見ると、前年同月に目立っていた「金銭的な理由で消費を控える」という声が大幅に減少(16年5月311件→17年5月238件)、前月(17年4月:262件)と比較しても減少しています。一方、「季節的に外出、買い物機会が増えそう」などの季節消費を挙げる声は前年同月よりも増えており(16年5月166件→17年5月177件)、特に買いたいモノ・利用したいサービスにおいても、「外食」、「レジャー」、「理美容」といったコト消費や「ファッション」が前年同月よりも20件以上の増加となりました。節約志向の低下を背景に、初夏を迎えての季節消費の高まりが予想されます。

ただし、今年のゴールデンウィークは前年ほど日取りが良くないためか、直接「ゴールデンウィークがあるから」と高い点数の理由として挙げたり、「旅行の予定がある」と答える人は前年よりも減っています。季節消費の高まりの割に消費意欲指数が前年並み(+0.7ポイント)にとどまっているのは、そのことが影響しているように思われます。

Point 2 : 女性20代にとって、3~5月は消費しない期間になっている?

女性20代の消費意欲指数に注目してみると、3月以降、50点付近でほとんど変動がありません(3月50.7点、4月50.0点、5月50.1点)。この傾向は、2016年の3月~5月も同様でした(3月51.5点、4月50.8点、5月51.2点)。本来、消費の牽引層である女性20代が、この時期、季節的な消費に反応しにくくなっている要因としては、

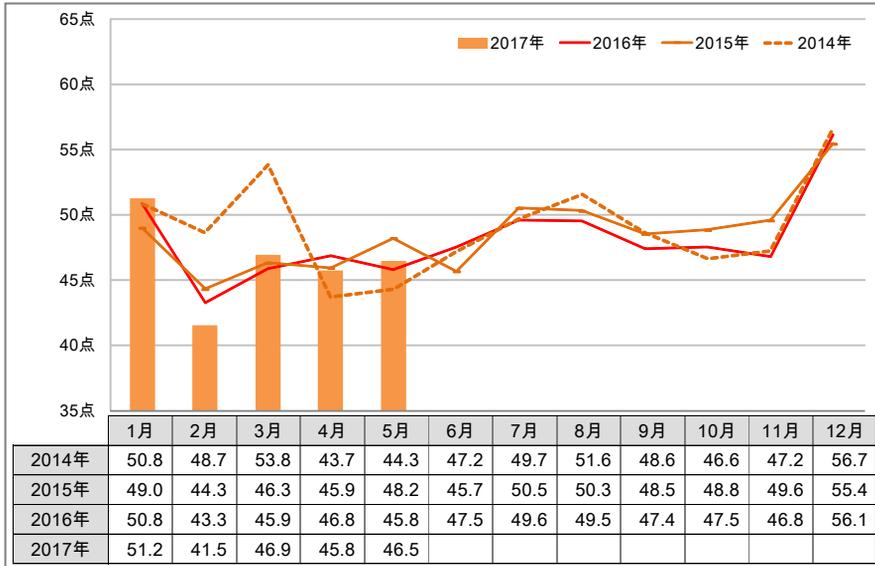
- ・将来不安のため、夏のボーナスシーズン、年末年始以外は消費を抑えている
 - ・新年度を消費の節目としてあまり意識しなくなった
 - ・天候不順のため(今年は3月以降もなかなか暖かくなかった)、春物衣料への関心が薄らいでいる
- などが考えられそうです。

消費意欲指数

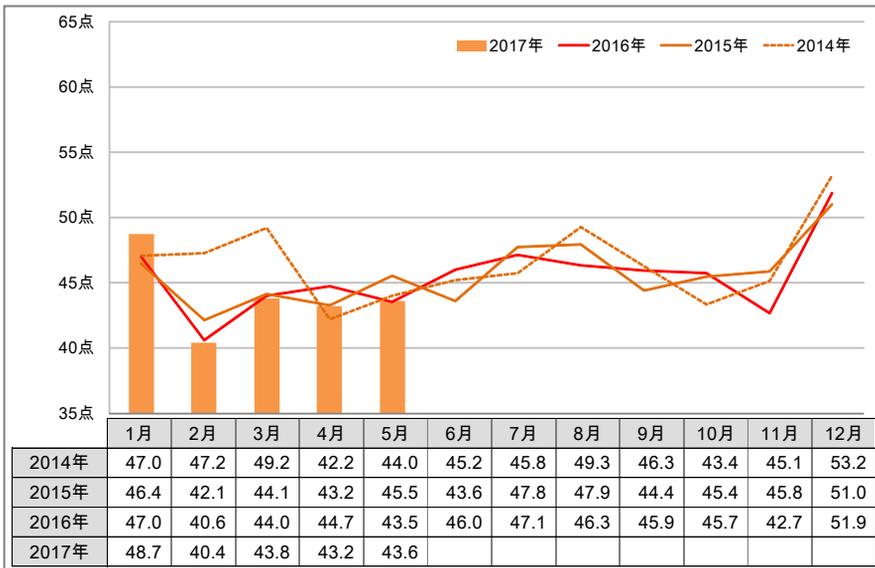
■ 時系列グラフ

Q. 消費意欲(モノを買いたい、サービスを利用したいという欲求)が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの来月(5月)の消費意欲は何点くらいですか。(自由回答)

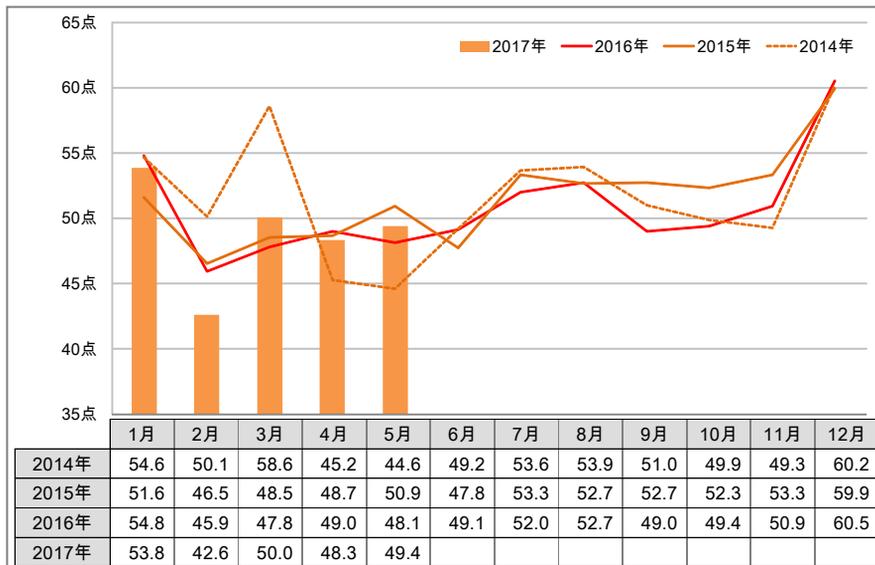
【全体】



【男性】



【女性】



■ 消費意欲指数の理由(抜粋)

Q. (消費意欲の点数について)あなたがその点数をつけた理由をお答えください。(自由回答)

<生活者の声～消費意欲指数の理由～【ゴールデンウィークがあるので買い物したい・出かけたい】

- ・ゴールデンウィークで買い物に出かけるから(80点・男性27歳・愛知県)
- ・ゴールデンウィークで、アウトレットモールなどでバーゲンをやるから(70点・男性35歳・愛知県)
- ・GWは旅行などにお金をかけたくなるので(70点・女性40歳・東京都)
- ・GWのため家族で外出する機会がおおいから(100点・女性51歳・愛知県)
- ・連休に夏物衣料を買いきたいから。(70点・女性61歳・埼玉県)

<生活者の声～消費意欲指数の理由～【暖かい季節だから買い物したい・出かけたい】

- ・暖かくなってきたので旅行やBBQなどを積極的に行いたいから(80点・男性23歳・愛知県)
- ・夏に近づくと夏物が気になっているから。春ものも少し安くなってたりしたら欲しい。(80点・女性32歳・愛知県)
- ・暖かくなってきて出掛けたいから(100点・女性42歳・大阪府)
- ・レジャーに出かけやすい季節になるので、外出等の行動に伴って消費意欲が高まってくるので(70点・男性59歳・東京都)
- ・春先や連休にはウキウキして外出する機会も増える。それに伴い、コト・モノに対する思いも強くなるので、自制しても90点ぐらいになるだろうと思う(90点・女性66歳・神奈川県)

()内点数:消費意欲指数

特に買いたいモノ・利用したいサービス

■ 特に買いたいモノ・利用したいサービスがある人の割合

Q. あなたが来月(5月)、特に買いたいモノ・利用したいサービスはありますか。(単一回答:ある/ない)

	2017年5月(%)	前月比(pt)	前年同月比(pt)
全体	28.1	+2.9	+1.3
男性	26.5	+3.9	+1.1
女性	29.6	+1.8	+1.4

■ 買いたいモノ・利用したいサービス

(特に買いたいモノ・利用したいサービスがある人ベース)

Q. 特に買いたいモノ・利用したいサービスとは何ですか。(複数回答)

【全体】(421人)

参考:男性(199人)

参考:女性(222人)

順位	カテゴリー	5月(人数)	前年同月比
1	ファッション	208	+21
2	外食	187	+38
3	旅行	175	+16
4	食品	145	+3
5	レジャー	125	+22
6	書籍・エンタメ	111	+2
7	飲料	92	-7
8	理美容	89	+26
9	化粧品	83	+7
10	家電・AV	81	+2
11	日用品	79	+13
12	装飾品	58	+2
13	パソコン・タブレット・周辺機器	55	+3
14	インテリア用品	51	+3
15	車・バイク	36	+4
16	スマートフォン・携帯電話	32	-7

順位	カテゴリー	5月(人数)	前年同月比
1	旅行	80	+9
2	外食	76	+24
3	ファッション	74	+10
4	書籍・エンタメ	62	+1
5	レジャー	56	+15
6	食品	53	-10
7	家電・AV	48	-1
8	飲料	38	-11
9	パソコン・タブレット・周辺機器	37	-1
10	車・バイク	30	+5
11	装飾品	23	+1
12	日用品	22	-1
13	スマートフォン・携帯電話	19	-3
13	インテリア用品	19	+10
15	理美容	15	+5
16	化粧品	5	-1

順位	カテゴリー	5月(人数)	前年同月比
1	ファッション	134	+11
2	外食	111	+14
3	旅行	95	+7
4	食品	92	+13
5	化粧品	78	+8
6	理美容	74	+21
7	レジャー	69	+7
8	日用品	57	+14
9	飲料	54	+4
10	書籍・エンタメ	49	+1
11	装飾品	35	+1
12	家電・AV	33	+3
13	インテリア用品	32	-7
14	パソコン・タブレット・周辺機器	18	+4
15	スマートフォン・携帯電話	13	-4
16	車・バイク	6	-1

<全体にのみ下記基準で色付け>

オレンジ:前年同月比で20人以上増加

青:前年同月比で20人以上減少

※男女別ランキングは、母数が少ないため参考値

※2016年11月調査より、各カテゴリーを選択した実人数の前年同月比に変更しています。

調査概要

■ 質問項目(質問文)

[消費意欲指数]

消費意欲(モノを買いたい、サービスを利用したいという欲求)が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの来月(5月)の消費意欲は何点くらいですか。(自由回答)
また、あなたがその点数をつけた理由をお答えください。(自由回答)

[特に買いたいモノ・利用したいサービス]

あなたが来月(5月)、特に買いたいモノ・利用したいサービスはありますか。(単一回答:ある/ない)
特に買いたいモノ・利用したいサービスとは何ですか。(複数回答)

調査概要 生活総研が、生活者の気持ちの変化を読み解くために、生活に関する意識を指数(100点満点評価)で回答してもらうものです。

調査地域 ①首都40km圏 ②名古屋40km圏 ③阪神30km圏

調査対象者 20～69歳の男女

対象者割付 調査地域①～③各500人を各地域の人口構成比(性年代)に合わせ割付

サンプル数 合計1,500人

	20代	30代	40代	50代	60代	合計
男性	124	150	189	140	148	751
女性	121	147	185	138	158	749
合計	245	297	374	278	306	1,500

調査方法 インターネット調査

調査時期 2017年4月6日(木)～10日(月)(2012年4月から調査開始/毎月上旬に実査)

調査機関 株式会社 東京サーベイ・リサーチ

<備考>

2016年1月まで発行していた「生活インデックスレポート(消費動向編)」は、「来月の消費予報」がその後を引き継いでいます。「生活インデックスレポート(消費動向編)」は、毎月初旬に当月の消費意欲指数を発表していましたが、「来月の消費予報」は、毎月下旬に翌月の消費意欲指数を発表いたします。

問い合わせ先 株式会社博報堂 博報堂生活総合研究所(十河・酒井) TEL.03-6441-6450
株式会社博報堂 広報室(西尾・大足) TEL.03-6441-6161

データ公開 本調査のデータは、生活総研のホームページ(<http://seikatsusoken.jp/shohiyoho/2017-05/>)からダウンロードしていただけます